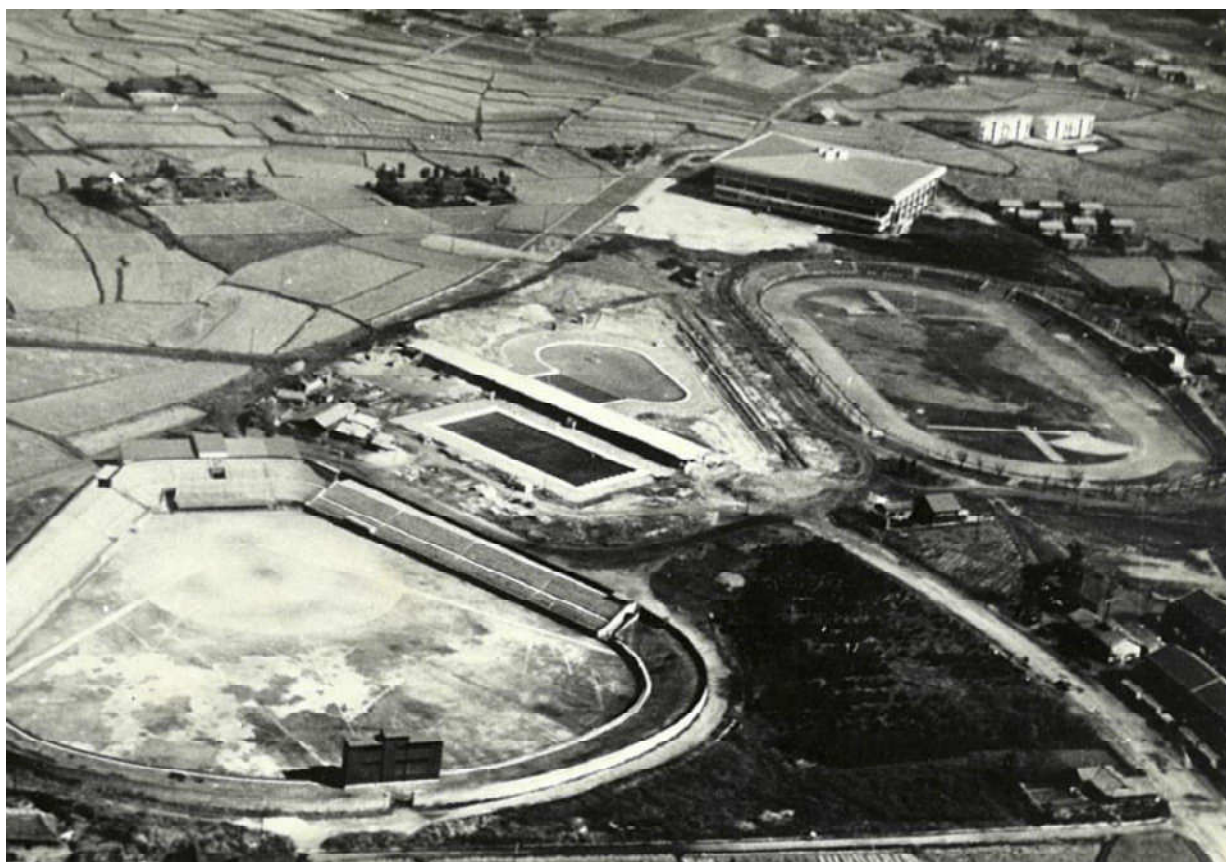


恩田スポーツパーク構想



山口国体に向けて整備中の恩田運動公園（1962年頃）

令和元年 11 月

宇部市観光・シティプロモーション推進部

文化・スポーツ振興課

目 次

1	構想に関する方針	
	(1) 構想のコンセプト	P 1
	(2) 構想の位置付け	P 2
	(3) 基本方針	P 3
	(4) ゾーン別整備方針	P 4
2	整備する施設	
	(1) ゾーン別整備施設	P 5
	(2) 施設配置イメージ	P 7
3	事業計画	
	(1) 整備スケジュール	P 8
資料 1	市民アンケートの結果	P 9
資料 2	市民ワークショップの結果	P 11
資料 3	スポーツ施設の利用者数	P 13

1 構想に関する方針

(1) 構想のコンセプト

56年ぶりに東京で開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、新たに若者を惹きつける都市型スポーツが追加されるなど、時の流れとともにスポーツの楽しみ方が変化している。

また、生涯を通じて心豊かな生活をするために「健康」であることへのニーズが高まり、運動・スポーツの目的やジャンルも多様化している。

そのため、市民一人ひとりのライフスタイルに応じた環境づくり、生涯を通じて運動・スポーツに親しむ機会と場所づくりが必要となることから、

構想のコンセプトを

「スポーツからストリートカルチャーまで」

として、恩田スポーツパークは新たな魅力とにぎわいを創出する。

本市の主要なスポーツ施設は、建設当時、十分な規模・機能を有していたものの、市民一人ひとりのライフスタイルに応じたスポーツへの取り組み方の多様化や施設の老朽化により、現在では市民ニーズへの対応が困難な状況となっているものもある。また、各競技施設が市内に点在しているため、利用者にとって不便な場面も生じてきている。

1963年の山口国体に併せて開園し55年が経過した恩田スポーツパークでは、単なる老朽化したスポーツ施設のリニューアルにとどまらず、将来の全市的な恩田スポーツパークの活性化を促すため、「健康」をテーマに既存のストックを活用（老朽化施設の健全化）するとともに、新たな魅力としてストリートカルチャー（若者文化）を付加することで、多世代にわたる市民が訪れ、健康な体と心を育て、若者でにぎわう場を創出する。



1 構想に関する方針

(2) 構想の位置付け

■ 第四次宇部市総合計画後期実行計画（平成 30 年 6 月）

「4 共に創る魅力・にぎわいあふれるまち」「スポーツ活動の推進」において恩田運動公園が新たな魅力とにぎわいあふれるエリアになるよう、園内の施設の整備指針となる「恩田スポーツパーク構想」を策定し、計画的に整備を進めていくこととしている。

■ 宇部市スポーツ推進計画後期計画（平成 30 年 4 月）

「施策②ーア 公共スポーツ施設の整備・充実」において恩田運動公園をスポーツの振興と市民の憩いの場として、新たな魅力とにぎわいを持つエリアにするため「恩田スポーツパーク構想」を策定し、計画的な整備を進めていくこととしている。

■ 宇部市緑の基本計画（平成 12 年 3 月）

恩田運動公園は、市街地における良好な拠点緑地として保全、整備に努めるとともに、本市のスポーツレクリエーションの核施設であり、各種需要に対応した場としての活用の促進に努めるとしている。

■ 宇部市公共施設マネジメント指針（平成 26 年 5 月）

「4 章 利用形態別の課題と個別方針」「4-4 スポーツ施設」において、各種目の競技人口、スポーツ施設の利用状況、施設コスト、民間施設の設置状況などを総合的に勘案し、近隣市を含めた広域的な利用環境を視野に入れた公共スポーツ施設のあり方を検討するなど、効率的・計画的なスポーツ施設の整備を推進するとともに、スポーツ施設の特徴を踏まえた適正な受益者負担を求めていく必要がある。また、市民が身近な地域でスポーツに親しめるよう、小中学校の学校体育施設の利用を促進するとともに、地域にある民間施設等の活用を広げていく必要があるとしている。

1 構想に関する方針

(3) 基本方針

新たなスポーツ拠点として再整備するにあたり、市民アンケートや市民ワークショップ、競技団体の意見をもとに、整備の基本方針をつぎの3点とする。

(市民アンケートの結果 P9、市民ワークショップの結果 P11)

【方針1】 誰もが気軽に利用が可能

年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、全ての市民が、自分の体力、興味、目的に応じてスポーツに親しむことができるバリアフリーのスポーツパークを整備し、「スポーツを楽しむ元気なひとの元気なまち・宇部市」を目指す。



【方針2】 大会やイベント等の開催が可能

多機能で複合型の施設を整備し、多種多様なスポーツ大会や合宿の誘致、各種イベントの開催などにより交流人口の拡大を図り、経済的効果や地域活性化につなげることを目指す。



【方針3】 スポーツを「観る」ことが可能

トップレベルのスポーツイベントが開催でき、多くの市民が観ることができる施設を整備することで、大人も子どももスポーツに触れることができる機会を創出する。



1 構想に関する方針

(4) ゾーン別整備方針

「既存施設の活用」を図りつつ、更新が困難な施設については新たなスポーツ拠点にて集約（一部機能分担）して整備する。また、パーク内をゾーニングして機能を明確にすることで、市民の多様な利用ニーズに応える



A. ボールパークゾーン 【野球、ラグビー、レクリエーション、イベントなど】

小学生から高齢者までの各種全国大会等の開催とともに、大学生や社会人が合宿等で長期滞在して利用できる環境として、野球、サッカー、ラグビーなど多目的に利用が可能なグラウンドを整備する。

B. ランニングゾーン 【陸上競技、ウォーキング、レクリエーションなど】

陸上競技にとどまらず、生活習慣病の予防にも効果的であり、健康の維持増進のために推奨されているランニングやウォーキングをいつでも安全に出来る環境を整備する。また、400mトラックのインフィールドについても多目的に利用できるように整備する。

C. アリーナゾーン 【室内競技、イベントなど】

天候に左右されないアリーナのロビーや控室を使って、新たなスポーツなどが体験できるように整備する。

D. ストリートカルチャーゾーン

【都市型スポーツ、スポーツカフェ、ミーティングルームなど】

老朽化したプールは、小中学校プールとの集約に向けて、利便性のよい地域に建設を検討していくことから、現在のプールは廃止とする。陸上競技場のメインスタンドと併せてスポーツパークの核として、にぎわいを創出する環境を整備する。

2 整備する施設

(1) ゾーン別整備施設

A. ボールパークゾーン

① 多目的グラウンドの整備

- ・既存のサブグラウンドを拡張して野球グラウンドを整備。

② 野球場の人工芝生化

- ・人工芝生化により、芝の管理経費の削減と利用可能な日数の増加を図り、県内外からの野球大会や合宿を誘致。

B. ランニングゾーン

① メインスタンドの整備

- ・老朽化したメインスタンド、ブロックフェンスを撤去し、「ストリートカルチャーゾーン」と併せて新たなメインスタンドの整備。

② ランニング・ウォーキングコースの整備

- ・施設間の通路などを使い夜間でも安全にランニングやウォーキングが利用できるように照明を設置するとともに、高齢者から障がいのある方にも利用できるようにコースのバリアフリー化を整備。

③ インフィールドの人工芝生化

- ・400mトラックのインフィールドの有効活用を踏まえ、サッカーやラグビーなどのフィールド競技を可能とする環境の整備。

④ 400mトラックの全天候化

- ・天候に左右されないトラックの整備。

C. アリーナゾーン

① 俵田翁記念体育館の耐震化工事

- ・アリーナの安全確保と防災拠点として使用できるように耐震化。

② 多目的ルームの整備

- ・俵田翁記念体育館内のミーティングスペースを多目的に活用するため、屋内競技にとどまらず、楽器の演奏やコーラスなどにも利用できる防音ルームを整備。

③ ボルダリングスペースの整備

- ・ロビーなどを有効活用して、東京オリンピックの新競技として採用されるボルダリングなど新たなスポーツを体験できるスペースを整備。

④ 観客席のリニューアル

- ・イベントやスポーツを快適に観戦できるように、木製ベンチをリニューアル。

D. ストリートカルチャーゾーン

① 屋根付グラウンドの整備

- ・フットサルや3×3、野球の練習、小規模な運動会、音楽やダンスなど天候に影響されない多機能な屋根付グラウンドを整備。

② 都市型スポーツ広場の整備

- ・スケートボードやスラックラインなどの新たなスポーツが楽しむことができる広場の整備。

③ 人が集まる空間の整備

- ・恩田スポーツパークの中心となる空間として、民間事業者の参入※によるスポーツカフェや多目的ルームの整備の可能性を検討するとともに、陸上競技場メインスタジアムを兼ねる施設整備を検討。

※民間活力導入の可能性を検討するにあたり、PPP（公民連携）／PFI（公共サービスを民間主導で行う）導入可能性調査等を行う。このため、諸条件整理や事業の枠組みの検討、VFM（一定の支払いに対する最も価値の高いサービス提供）の算定、サウンディング型市場調査等を実施。

④ アドベンチャー広場の再配置と充実

- ・既存の複合遊具等設置広場について、再配置を含めた環境の充実に向けた整備。

E. 恩田スポーツパーク（インフラ）

① 園路

園路をバリアフリー化。

※段差が生じている箇所など、通行上支障がある部分のバリアフリー化改修。

② トイレ

老朽化したトイレを陸上競技場メインスタンドに集約。

③ 駐車場

イベント時などの駐車場不足を解消するため、「多目的グラウンド」「都市型スポーツ広場」など駐車場として利用できるように整備。

④ 避難場所

地域防災計画における避難場所として整備。

3 事業計画

(1) 整備スケジュール

	工 程	PPP、PFI関係
2019年 11月 12月	スポーツパーク構想策定 俵田翁記念体育館工事 完成 C-①耐震、C-②多目的スタジアム C-③ボルダリングスペース	
2020年 2月 5月 9月	スポーツパーク アイディア提案 1期工事 公募型プロポーザル D-① 屋根付グラウンド、D-② 都市型スポーツ広場 プール解体 D-①、D-②着工	PPP・PFIの事業範囲の 参考とする 事業者公募
2021年 3月 5月 9月	D-①、D-②完成 2期工事 公募型プロポーザル B-①、D-③ 陸上競技場本部解体、新設 B-①、D-③ 着工	事業者決定 設計・施工
2022年 3月 5月 9月	B-①、D-③ 完成 3期工事 公募型プロポーザル A-① 多目的グラウンド改修 A-② 野球場人工芝化改修 B-② ランニング・ウォーキングコースの整備 A-①、A-②、A-③ 着工	
2023年 3月	A-①、A-②、A-③ 完成	

【 4期工事未定 工期7か月間 】

- C-④ 俵田翁体育館観客席改修
- B-③ 陸上競技場改修（インフィールドの人工芝化）
- B-④ 陸上競技場改修（400mトラックの全天候化）

■ 市民アンケート

①アンケート概要

実施時期：2017年9月～10月

対象者：小学校校区の各年齢層、イベント等参加者（ふるさと元気懇談会、100周年市民委員会など）

合計 2,102 人

②アンケート結果

問 恩田運動公園の機能（施設や空間）で最も必要と思われる機能（全世代）

33%：家族（多世代）で楽しめる憩いの場が必要

29%：多種目のスポーツが体験できる場が必要

18%：大規模大会やイベントを誘致できる施設が必要

世代別の傾向

10代は「多種目のスポーツ体験」の場が多く、20代は「家族（多世代）で楽しめる」と「多種目のスポーツ体験」が同数で、30代から80代は、「家族（多世代）で楽しめる」の場が多かった。

自由記述

ハード

サッカー場、室内プール、ストリートバスケット、ドッグラン、ジム
ナイター（ソフトボール）、全天候型陸上競技場、駐車場・第二球場

機能等

綺麗なトイレ設備、近所の学校体育館解放、経済ベースの利用料金
現状で良い、個人で楽しめる場、友達とたくさんできる
体力づくり、家族でゆっくりできる、全天候型でスポーツイベント
小さな子供から小学生まで遊べる遊具

問 恩田運動公園に必要なと思われるスポーツ施設：複数回答（全世代）

24%：体育館、18%：プール、17%：グラウンド、16%：野球場
15%：陸上競技場、8%：トレーニングジム

世代別の傾向

全世代とも「体育館」が多く、次に「プール」「グラウンド」であった。

自由記述

ハード

アスレチック、子どもの遊具、インドアスポーツが可能な部屋
温水プール、球技（サッカーラグビー）場、休憩場所、グラウンドゴルフ
軽食・喫茶コーナー、ゴルフの練習場、サブグラウンド、サブ体育館
シャワー施設、障害者が利用できるスポーツ施設、ジョギングコース
スケートリンク、スケボー、スタジオ、ストリートバスケット
ソフトボールのナイター施設、多種目のスポーツ施設、テニスコート
バスケットコート、フィットネスクラブ、武道場、ふれあいセンター
ホール、ボルダリング、野球場のサブグラウンド

機能等

雨でも歩ける場所（きららドームみたいに）、憩いの場
ウォーキングできる周遊路、野外に置ける健康器具
家族で楽しめる公園とイベントを誘致できる施設、食事のできる場所
空調があって 3000 人以上収容できるアリーナ
子供が遊べる運動施設、子供が遊べる遊具、子供が自転車に乗れる場
子供たちが遊びながら運動が出来るアスレチック
子供たちが遊べる芝生広場、自転車専用レーン、芝生の広場
新体操が出来るような施設、トランポリンなど
スポーツ店、食料品販売ブース、小さい子供が遊べる遊具
駐車場、併設のカフェなど、交流施設
レノファ山口観戦などの可能なサッカー施設など

■ 市民ワークショップの結果

①ワークショップ概要

第1回ワークショップ テーマ「恩田スポーツパークに必要な機能」を考える

開催日：2018年11月21日 14:00～16:00、19:00～21:00

22日 14:00～16:00

第2回ワークショップ テーマ「パーク内のゾーニング」を考える

開催日：2018年12月2日 13:00～17:00

対象者：公募 延べ61人参加

②ワークショップ結果 グループで「恩田NEWスポーツパーク」を考える

1班

構想内容

既設の施設を活用し、恩田運動公園の歴史を保存する。

改修のポイント

1. プールの跡地にスケートボードができる広場と既設の芝を利用した広場を設置し、人気の高い複合遊具も移設する。
2. 陸上競技場のインフィールドをサッカーもできるように改修する。
3. 球場横に屋根付きの多目的広場を設置し、飲食コーナーを設けることにより中心性をもたせる。
4. これまでの歴史のシンボルとしてメタセコイア並木を保存する。
5. 既設の駐車場は残し少しでも安価にする。

2班

構想内容

ニュースポーツを取り入れた、新たなスポーツパークと家族で遊べる公園

改修のポイント

1. プールの跡地を芝生広場として家族で遊べるスペースとする。
2. 陸上競技場の周囲に照明を配置し夜間でもランニングできるようにする。
3. 球場横に飲食店などのにぎわい施設を配置。その隣にニュースポーツが楽しめる施設を設けることにより中心性をもたせる。
4. 芝生広場にステージを併設しイベントなどが開催できるようにする。
5. 国道からのアクセス道、体育館の周囲を駐車場にする。

資料 2

3 班

構想内容

恩田運動公園がだれでも楽しめるテーマパークのような公園。

改修のポイント

1. プールは、きららにない25mプールをつくり大会を誘致。
2. 誰もが楽しめるにぎわい施設の建設（9階建てくらいで、野球場を眺望でき、スポーツバーやリハビリ施設など）
3. バスを公園内に乗り入れ高齢者へ配慮、バスなどの駐車場も確保。
4. 駐車場が不足するため小スペースで建設可能な立体駐車場を整備する。
5. ときわ公園と一体的に利用できるよう専用のランニング道を整備する。

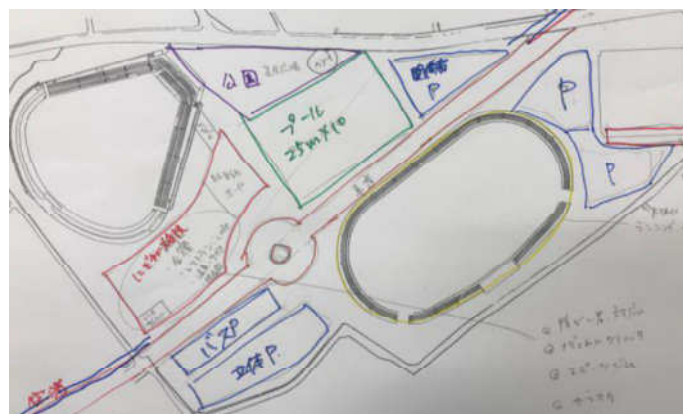
1 班



2 班



3 班



資料 3

■ スポーツ施設の利用者数

施設名	26年度	27年度	28年度	29年度	
俵田翁記念体育館	49,634	58,720	71,224	58,567	
西部体育館	48,315	50,339	54,677	46,513	
武道館	34,705	45,054	32,153	30,042	
東岐波体育広場	7,460	8,295	7,370	7,620	
東部体育広場	48,417	42,181	41,252	42,281	
厚南体育広場	3,824	4,450	7,271	11,287	
黒石体育広場	グラウンド	7,479	8,909	12,095	15,432
	テニスコート	10,158	11,360	10,390	11,193
野球場	49,757	74,491	86,775	82,652	
プール	19,843	20,962	31,963	29,831	
陸上競技場	7,319	10,476	14,166	12,578	
補助競技場	13,236	12,942	15,063	17,121	
中央公園テニスコート	100,146	108,867	102,932	102,212	
弓道場	13,138	13,378	12,919	12,213	
アーチェリー場	2,142	1,369	1,113	973	
常盤	多目的	15,231	17,353	16,119	21,104
	サッカー場	21,125	27,277	23,435	21,662
楠若者センター	10,594	10,653	11,301	10,740	
楠体育広場	2,472	2,110	1,706	1,642	
楠テニスコート	4,185	4,521	4,463	3,804	
利用者合計	469,180	533,707	558,387	539,467	